

第2回（仮称）藻岩・啓北商業再編新設校校名検討委員会 議事録

1 日 時 令和7年8月19日（火）17時30分～18時40分

2 場 所 市立札幌藻岩高等学校 1階 大会議室

3 出 欠 (1) 出席 委員 10名
事務局 6名
(2) 欠席 委員 1名

4 傍聴者 報道記者 1名（非公開決定後、退席）

5 議 事

- (1) 公募状況及び新設校の概要
- (2) 選考部会校名候補について
- (3) 選考方法について
- (4) 校名の選考

【開 会】

校名検討の過程が途中公開されることにより公正な校名の選考に影響を及ぼす可能性があることから、札幌市情報公開条例第21条のただし書きに基づき第2回及び第3回の会議を非公開とすることが決定した。

以下、非公開

【議 事】

(1)～(3)について事務局及び選考部会から説明

（概 要）

○6月16日から7月16日まで校名を公募し2,000件を超える応募があった。内訳としては、スクール・ミッションや生徒への願いを込めたものが約1,000件、既存校の校名や両校の名称を掛け合わせたものが約800件、地名に関するものが約300件。なお、応募数が多い校名が必ずしも採用されるわけではない。

○選考部会では、スクール・ミッションを反映した校名6点と、生徒への想いや願いを反映した校名4点の合計10点を候補とした。選考にあたり、新しい学校をつくるという観点を重視し、新設校のスクール・ミッションや生徒への願い、学校の特徴を反映したものを選んだ。

○今回の会議では選考部会で挙げた10点の候補について、校名案公募一覧から追加案があるかなどの意見交換を行った後、全候補の中から1人3票の投票を行い、上位5点を選出する。次回の第3回検討委員会では、今回絞り込んだ5点から1人1票の投票を行い、最終的に1つに決定する。

【質疑応答】

・『彩創（創彩）』『南星（星南）』のように漢字の組み合わせが逆になっている候補の扱いについては、どの段階でどちらを有効とするか、また今後の取り扱いについて教えてほしい。

⇒（委員）括弧で記載した校名候補を1作品とみなし、全部で12点で審議する方がよいのでは。

・選考部会が選考した候補の順序は何か意味はあるか。

⇒（選考部会）順序に特別な意味はない。

・藻岩と啓北商業の名前を使わずに選考した経緯を知りたい。地域に親しまれている『藻岩』という地名を校名に使う選択肢もあったのではないかな。

⇒（選考部会）藻岩高校と啓北商業の再編は単なる合併ではなく、新しい学校をつくるということである。そのため、選考部会では、スクール・ミッションや願いなどを反映するような校名を選ぶという方針で校名を選考した。

・『秋桜』について「しゅうおう」という読み方の案もあるが、読み方は「こすもす」で良いかな。

⇒（選考部会）「こすもす」という読み方で良い。

・部活動の試合などで応援のコールをするときは、何と呼ばれることが多いのか。

⇒（事務局）一般的には「新川」や「平岸」のように2文字や札幌〇〇などと呼ばれることが多いが、野球のスコアボードなどの表示物は札幌〇〇などの3文字になることもある。

【主な意見】

・多数の公募案から候補を絞るのは大変だったと思うが、個人的には未来に向かって頑張っていけるような校名が良いと思う。

・広く校名を募ったため、小中学校の校名選考とは違い難しい。選考部会で定めた方針に基づいて候補を絞ることが重要になると考える。地域に愛着のある方の気持ちも理解できるが、方針をぶれずに選考する必要がある、説明できるようになると考える。小学校の校名を決めた際は、児童の意見を参考に選定し納得を得ることができたので、今回も方向性を整理することで、決定後の混乱を防ぐことができると考える。

・校名を考える上で意識したい視点が二つある。一つ目は、音の印象である。漢字の意味だけでなく、音だけで聞いた際のイメージも学校名の印象に影響を与えると感じる。二つ目は、色のイメージである。校名に含まれる言葉によって、学校のイメージカラーが自然に定まる。例えば、『南星』は星空、『秋桜』はピンク、『緑豊』は緑を連想させる。こうした視点も校名選定の際に重要になると考える。

・選考部会では、漢字の読み方や印象、選定理由などを意識して選考した。意見を聞き、耳から入ってくるイメージや色のイメージも校名を考える上で重要な視点だと感じた。

・『彩輝』という校名は、白い光の中に様々な色があり鮮やかに戻っていくという印象がある。子どもたちがこれから高校で多彩な可能性を持つことを象徴しているように感じた。

・校名には受験をする生徒が期待感を持てるような名前が良いと考える。また、漢字の意味だけでなく、音の響きや文字から連想される色も重要な視点であると考えている。

(4) 校名の選考

選考部会の選考方針に基づき、新設校の目指す学校像や札幌市内から通う生徒が期待を持てるような校名を選考するという方針で進めていくことと、追加の校名案がないことを確認した後、12点の候補の中から投票を行い、次の結果となった。

1位：翠嶺…7票	6位：晴麓…2票	11位：星南…0票
2位：拓嶺…6票	6位：南星…2票	11位：創進…0票
3位：緑豊…4票	8位：秋桜…1票	
4位：共創…3票	8位：彩創…1票	
4位：彩輝…3票	8位：創彩…1票	

(18時40分閉会)